

事業番号	04 07 03	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	児童福祉施設整備事業			担当課	部局	県民文化部	
					課・局・室	こども・家庭課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7－2 子育て先進県の実現 4 児童福祉の充実		実施期間	H20 ～		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	老朽化や耐震上の課題がある児童福祉施設の改築、大規模修繕等の施設整備を実施する社会福祉法人等に対して、その経費を補助することにより入所児童の安心・安全の確保と処遇向上を図る。												
現状（予算編成時）	県内の児童養護施設等は新耐震基準の制定（昭和56年）以前に建築され、老朽化・狭隘化の著しい施設が多く、各施設設置者の整備意向の把握により計画的な施設整備を進め、あわせて施設養護の「より家庭的な養育環境」への転換を進めていく必要がある。												
県が関与する理由	県でなければ実施不可（その他）			【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助を有効活用して実施するのが効果的であるため 社会福祉施設等整備事業補助金交付要綱（県）									
	県民との協働による実施：実施は困難												
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28） 入所児童の安心・安全の確保と生活環境の改善のため、整備計画と必要自己資金を整え、施設を移転改築して完全な「小規模グループケア化」を図る社会福祉法人の施設整備に対しその経費を補助することにより、土砂災害等の自然災害発生時の入所児童の安全確保を図るとともに、施設養護における家庭的な養育環境の整備に資する。												
	② 事業内容（単位：千円）												
	項目		実施方法	H28事業実績		H28		H29					
						（当初）	（決算）	（当初）					
	児童福祉施設の整備		補助	児童養護施設1施設の移転改築		294,115	402,469	0					
	児童福祉施設の防犯対策強化（11月補正）		補助	児童養護施設6施設、乳児院1施設の非常通報装置・防犯カメラ等の設置等の防犯対策の実施		-	6,017	-					
			合計		294,115	408,486	0						
事業コスト	区	分（単位：千円）		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
		当初予算		243,922	294,115	0				目標	成果		達成状況
		補正予算		5,378	114,798		児童福祉施設の整備	1施設	2施設	1施設	1施設	達成	-
		合計（A）		249,300	408,913	0							
	Aの財源	一般財源		83,100	303		小規模グループケア実施箇所数	27	33	38	35	未達成	-
		県債		0	136,000								
		国庫支出金		166,200	272,610		防犯対策の強化	-	-	7施設	7施設	達成	-
		その他		0	0	0							
	決算額（B）		249,300	408,486									
	概算人件費	職員数（人）		0.1	0.1								
		概算人件費（C）		828	791	0							
	概算事業費（B（A）+C）		250,128	409,277	0								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none">・児童養護施設1所を改築し、完全な「小規模グループケア化」を図る社会福祉法人の施設整備に対し、その経費を補助することで入所児童等の安全確保を図るとともに、「施設養護における家庭的な養育環境の推進」、「施設養護における家庭的な養育環境の整備」に資することができた。・小規模グループケアの実施箇所数については、児童養護施設の移転改築により6ユニットの実施がされたが、平成29年4月に運用開始となったため、成果には含まれていない。・児童養護施設6施設、乳児院1施設の非常通報装置・防犯カメラ等の設置等に対し補助を実施し、防犯対策機能の向上に資することができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	29年度の施設整備予定はないが、県内の児童養護施設は昭和40年代から昭和50年代前半に建築されたものが多く、今後、被虐待児等に対応した小規模グループケアの導入等に併せて老朽化、耐震化のための改築について計画的な施設整備を行っていく必要がある。